



平成 28 年 12 月 21 日
港湾局海洋・環境課
国土技術政策総合研究所

NPO法人日本障害者セーリング協会と国土交通省は『海の障害者設備指針』の作成に協力して取り組みます

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催等に向けて、バリアフリー化やユニバーサルデザインによる施設整備が一層重要となることを踏まえ、国土交通省港湾局及び国土技術政策総合研究所は、NPO法人日本障害者セーリング協会が取り組む指針づくりに参画・協力していきます。

我が国の海洋性レクリエーションの振興に向けて、マリーナ等におけるバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入促進は重要な課題です。

民間では、障害者等が行うセーリング活動の支援や設備環境の改善に関する研究開発等を行う唯一の団体として、NPO法人日本障害者セーリング協会(PSAJ)があり、障害者が安全かつ快適にマリーナ施設を利用できる設備基準を定めた「マリーナ障害者用設備指針」を平成 10 年 4 月に発行されています。

(PSAJのホームページアドレス：<http://parasport-sailing.jp>)

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催等に向けて、高齢者や障害者の社会参加への関心や意欲が高まり、バリアフリー化やユニバーサルデザインによる施設整備が一層重要となることを踏まえ、PSAJが、指針を改定・拡充して、新たに『海の障害者設備指針』を定めることになり、障害者セーリングの選手を含むマリーナの利用者が中心となる研究会を 10 月に立ち上げて検討を開始したところです。

国土交通省港湾局及び国土技術政策総合研究所は、こうしたPSAJの取り組みが海洋性レクリエーションを振興するうえで重要な意義を有していることから、PSAJからの協力要請を受けて、港湾施設の設計等の知見を生かし、検討に参画・協力することになりました。

今後、PSAJは、研究会や技術的検証を経て、平成 29 年夏頃に新たな指針をとりまとめ発行する予定です。

【別添 1】マリーナにおけるバリアフリー化・ユニバーサルデザインのイメージ

【別添 2】海の障害者設備指針研究会 構成員

【別添 3】NPO法人日本障害者セーリング協会プレスリリース

問い合わせ先：

国土交通省港湾局海洋・環境課 相澤、西本

TEL：(03) 5253-8111 (内線 46673) 直通：(03) 5253-8685 FAX：(03) 5253-1653

国土技術政策総合研究所企画調整課 鈴木、篠澤

TEL (046) 844-5019 FAX (046) 842-9265